

CONTENTS 目次

- 2 特集 君が気づけば、やいたは変わる
- 8 地域おこし通信・ヤイタゴハン ほか
- 10 子育てひろば・図書館へGO！ ほか
- 12 今月のニュース&トピックス
- 15 はつらつ通信
- 16 市からのお知らせ
- 31 #yaitagram・クイズ&アンケート
- 32 ゆかりびと・編集後記

COVER 表紙の写真



表紙の写真は、YADメンバーに協力してもらい駅東口付近で撮影したものです。当日は、1日雨予報でしたが、撮影時だけ奇跡的に雨が上がり、無事に外で撮影することができました。雨をも吹き飛ばす高校生パワー。すてきな笑顔がありました。ありがとうございました。

POPULATION 人口 (6月1日現在)

| | | |
|-----------------|---------------|-----|
| 30,709人 (△34) | 出生 | 13人 |
| 男 15,281人 (△17) | 死亡 | 42人 |
| 女 15,428人 (△17) | 転入 | 75人 |
| 13,350世帯 (20) | 転出 | 80人 |
| ()内は5月1日との比較 | ※住民基本台帳をもとに算出 | |
| △は減 | | |

特集 君が気づけば、やいたは変わる



YAD

YADについて

発足は2018年7月。その前年に矢板市の基礎を築いたと言われる「矢板武」の精神を受け継いだまちづくり塾である・矢板武塾に参加した高校生9人が、高校生が主体となった新たなまちづくり団体として「YAD」を立ち上げました。

「自分たちの世代が、気軽に集える場所をつくりたい」そんな思いから結成されたYADは、高校生を中心とした学生が、気軽に集まったり勉強したりできる「居場所」づくりを目指しています。彼らにとっての「居場所」とは、「集う場所」というだけでなく、「心のよりどころ」でもあり、この団体の活動自体が彼らの居場所にもなっています。

彼らの主な活動は、矢板のまちを盛り上げることです。YADとは、「YAITA ALL DIRECTIONS」の略。「directions(ディレクションズ)」とは方向・方位という意味があり、「矢板の活性化、矢板の良さを発信、世代間交流などを通じて、矢板をいろいろな方向から盛り上げる」という意味が込められています。

高校生だから気づくこと

矢板市には「YAD」という高校生のまちづくりボランティア団体があります。YADは、市内にある3つの高校の生徒など、若い世代が集まる場所をつくり、にぎわうことで、矢板のまちを元気にしたいとの思いから、自分たちが考える「高校生の居場所」を実現するために活動しています。

今号では、彼らのちょっとした「気づき」により実現したさまざまな活動を紹介します。「高校生が矢板を楽しむために何を必要としているか」

これからのまちづくりについて、一緒に考えてみませんか。



the Younger Generation

カタチにしたぼくたちのまちづくり こんなまちにしたい



女性議会に高校生代表として参加しました。そこで、高校生主催の「高校生カフェ」を開くことで、若い世代が集う居場所をつくり、まちのにぎわいに貢献したいという考えを伝えました。市からは、積極的にサポートしたいと答弁をいただき、6月に実現することができました。私たちの声に耳を傾けてくれる矢板市、最高！

女性議会で質問



矢板東高校 3年 高村 莉未さん

CAFE 高校生カフェ

YAD設立当初から打ち合わせを重ねてきた待望の企画「高校生カフェの開催」をついに実現させました。

当日は、想定を大きく上回る来客で、急ぎょ追加の買い出しに行くなど、多くの人でにぎわいました。



やってみて感じたこと

- メニューを考えて、材料の手配から準備まで、自分たちの力で作りあげたことに達成感。
- 自分たちでメニューの考案ができ、いい経験になりました。
- 世代を超えた地域の人との交流が楽しかった！
- お客さんが多くて大変でした。カフェで働く人たちってすごいなあと思いました。
- 当日は、小さな子どもから年配の人まで幅広い世代のお客さんが来て、世代間の交流の拠点として貢献できたのでは？と感じました。うれしかった。
- 優しいお客さんたちばかりで、矢板ってあったかいまちだなあと実感しました。
- 思った以上にたくさんの方が来て、楽しんでもらえてよかったです。
- これからも「高校生カフェ」を定期的で開催し、にぎわいの場として確立していきたいです。
- 想像以上の盛り上がりでYADの知名度が上がった！
- 地域交流の場を作れて、やりがいを感じました。



こだわりは高校生目線



Map おすすめスポットマップ作り

矢板市は、3つの高校があるなど、若い世代が行き交う場所です。せっかく矢板にいますから「行ったことのないお店を巡ってほしい」「商店街を元気にしたい」という想いで、グルメ編・スイーツ編などのおすすめマップを作りました。これらは市立図書館・取材協力店などに設置し、市内高校の1年生に配布しました。



矢板東高校 2年 松本 心夏さん

やってみて感じたこと

- お店との取材交渉や写真撮影など初めての経験ばかりで緊張しました。
- 今まで知らなかったお店を知れたり、行ったことのないお店に行ったりして、自分も新しい発見ができました。
- 初めての活動で大変でしたが、先輩たちと一緒に矢板のお店の魅力を発信できてうれしかったです。

Event イベント開催

昨年は、旧西小学校を活用したイベント「共同文化祭」でカフェや教室を活用した催しを実施しました。また、気球やツリークライミング、モルックなどが体験できる「アウトドアフェス@長峰公園」を開催しました。地域の方にご協力いただきながら、メンバーがやってみたいことをできる限り詰め込みました。



矢板東高校 2年 石部 侑輝さん



教室でこくばんアート

やってみて感じたこと

- 自分たちが作ったイベントにこんなにもたくさんの方が来て楽しんでくれるのか、と感動しました。
- 普段できないことがたくさん体験できたり、大人の人と直接関わったりして良い経験になりました。
- 自分がかんばることで色んな人が笑顔になっているのを見てうれしい気持ちになりました。

気球にのりたい



彼らが描く未来を共に



コンサルティング会社勤務 池上 直輝さん (中)
ITエンジニアとして働く傍ら、商工会主催の市内事業者PR動画の作成でYADと活動。趣味で料理を研究しており、飲食イベントなどを考案中。

市内事業者PR動画の作成でYADメンバーと時間を共にし、まちづくりに真剣に取り組む姿を間近で見られました。さまざまな場面で楽しみながら取り組む姿は、一緒に一つのものを作り上げた仲間として尊敬することができました。そして、世間一般的に「若者」の一言でくくられてしまう高校生が、ワクワクに対するアンテナが強い「想像力豊かなアーティスト」だとも感じました。「ワクワクすること」や「楽しいこと」に敏感な彼らが生み出すまちづくりの今後がとても楽しみになりました。

そんな彼らと一緒に何かを作ったとき、地域の魅力を最大限に活かしたアイデアがどんどん生まれてくることでしょう。とはいえ彼らにも知らないことはたくさんあるはず。活動には大人のサポートが必要な場面もあります。資金・専門知識・経験など地域の大人たちは、彼らにとっても強力なパートナーです。私も、彼らが描く未来の矢板が明るいものになるよう、できることから協力し、同じ時間を共有しながらたくさん刺激をもらいたいと思います。

Local communities

日本一元気なまちにしたい

高校1年生のとき、友達の誘いを受けYADの活動に参加しました。軽い気持ちで入りましたが、今では、僕の高校生活に欠かせない大きな活動の一つになり、大切な居場所となりました。

YADの特長は、自分たちが主役ということ。元気なまちづくりのために「何が必要なのか」「何をしたいのか」「そのためには何から始めるのか」僕たちが気づき、考えたことがまちづくりにつながります。自由でやりがいがあり、メンバーとの話し合いでは、アイデアが止まりません。でも、アイデアをカタチにすることは簡単なことではないことも学びました。うまくいかないことのほうが多いですが、地域の方にサポートいただき、成し遂げた時の感動は忘れられません。

現在、メンバーは40人。企画力がある人、デザインが得意な人、リーダーシップがある人、裏方の仕事に徹する人…など、一人ひとりが得意分野の引き出しを持ち寄り、活動はどんどんステップアップしています。また、高校が違う仲間や地域の大人の方との関わりは、YADに所属していなければ得られなかった財産です。

YADは今後も、これまでに立ち上げたイベントを継続させ、自分たちと地域の方たちがワクワクするイベントをたくさん企画していきます。僕はまもなく引退となりますが、卒業後もYADの活動をできる限り見守っていきたいと思います。そしていつか「日本一元気なまち・矢板市」になれたらいいなあと思います。

さくら清修高校 3年
YAD代表 漆原 尊琉さん



まちづくりを「自分ごと」に

はじめは、彼らの素直でエネルギッシュなパワーに圧倒されました。でも、そのパワーこそが彼らのすごさ。このパワーとまちづくりがかけ合わさったときどうなるのか、想像しただけでも好奇心をかき立てられました。

YADは、「やりたいことを実現するには、どうすればいいか」を考え、そして経験する場所です。大人と関わりながら、失敗と成功を経験し、その過程でたくさんのことを学んでほしいと思っています。私たちは、彼らのフレッシュな意見や考えに刺激をもらいながら、若い世代が生き生きとまちづくりができるよう全力でサポートします。

YADの活動では「まちづくりっておもしろい」と思ってもらえるよう、彼らの興味関心を企画やイベントにつなげています。これらを通じて、まちづくりを「自分ごと」と捉えられるようになってもらいたいです。学校を超えた地域の方たちとの横のつながりや、世代を超えたさまざまな方たちとの縦のつながりなど、学校以外の世界で学ぶことで、どんどん視野を広げ、彼らなりの視点で矢板の良さを発掘してもらえると嬉しいです。

そして、YADで学んだ時間が、彼らの地域愛の根っことなり、いずれUターン就職や、YADのサポート活動をするなど、地域側の存在となって戻って来る日を楽しみにしています。



商工観光課
阿久津 実優さん

YADを担当して2年目。高校生たちが生き生きとまちづくりに携われるよう全力でサポートを行う。

Wanted member

メンバー・協力者大募集！

活動に賛同し、協力してくれる高校生・地域の大人を募集しています。

団体に興味がある、一緒に活動してみたいという方はご連絡ください！誰でも大歓迎！
問い合わせ／

Yaitaalldirections@gmail.com



Twitter



Instagram

Finally

アウトドアフェス

昨年のアウトドアフェスが楽しかった。また長峰公園で大きなイベントをやりたい。



YADのこと、もっとみんなに知ってほしい。

夏祭り

縁日・おみこし・浴衣。夏っぽいイベントがしたい。



新やいたブランド発掘
高校生目線で、矢板の魅力を届け市内外にPRしていきたい。

映画観賞会



音楽祭



ボランティア活動が盛んなまちにしたい

フリーマーケット

3 高校合同イベント

高校の枠を越えて、イベントを企画したい。高校生の力を集結させ矢板を盛り上げたい！



市民運動会

矢板市はすてきなまち！
これからも市民に愛されるまちづくりをしたい。



活動を通じて、もっともっとコミュニケーション能力を身に付けていきたい。



気球
訪れてくれた人たちの笑顔が忘れられない。今年こそは長峰公園で気球を飛ばしたい。

動画作成

自分がんばることで、いろんな人が笑顔になるのを見たい。



野外フェス

社会貢献活動

吹奏楽部の活動を活かせる音楽イベントがしたい。



カフェ継続

カフェとして定期的開催したい。イベントの時にも高校生カフェとして出店したい。



巨大海苔巻きづくり

校舎の廊下を利用してみんなで息を合わせて巻く。団結できて盛り上がりそう！

次は何する？

この瞬間を全力で楽しみたい

